

2010年4月28日

ご参考資料

Follow
Up
Memo

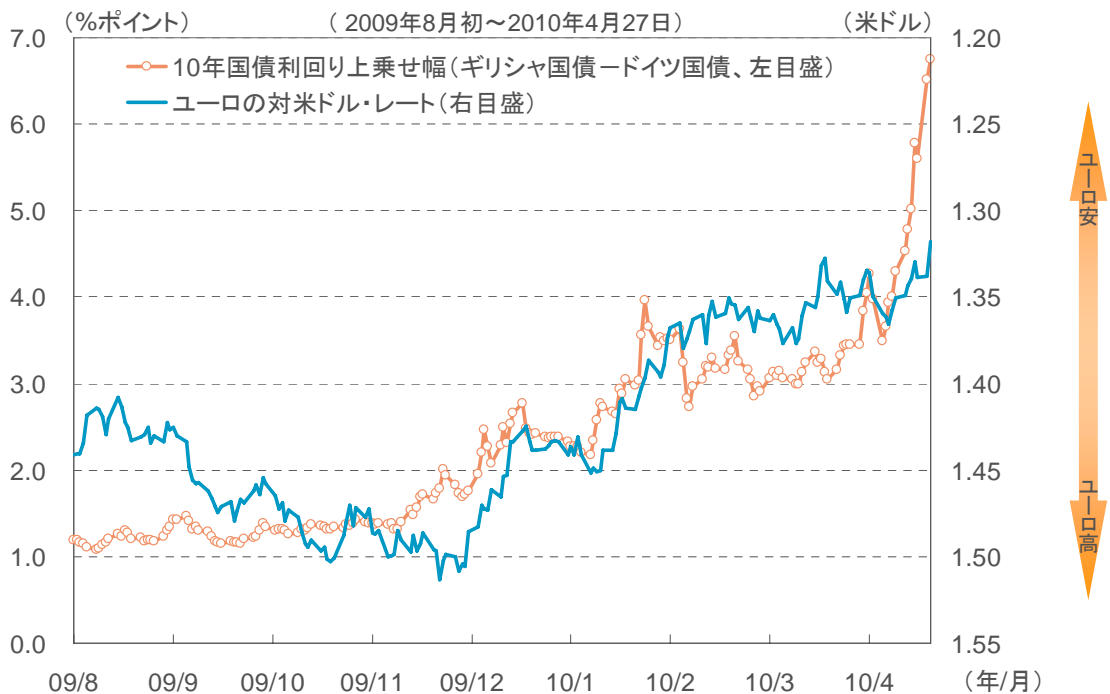
フォローアップメモ

S&Pによるギリシャとポルトガルの格下げについて

nikko am
fund academy

格付け会社のスタンダード&プアーズ（以下、S&P）は27日、ギリシャの格付けを見直し、従来BBB+としていた長期債務格付けを投資不適格級にあたるBB+へ3段階引き下げました。ユーロ圏の国が投資不適格級との評価を受けるのは、1999年のユーロ導入以降、初めてのことです。また、S&Pはポルトガルについても格付けを見直し、長期債務格付けをA+からA-へ2段階引き下げました。

ギリシャの国債利回り上昇幅とユーロの推移



(信頼できると判断したデータを基に日興アセットマネジメントが作成)

ギリシャから23日に要請を受け、EU（欧州連合）やIMF（国際通貨基金）などの関係機関・国が金融支援の早期実施に向けて動き始めています。しかし、支援発動要請後も、ギリシャ国債の利回り上昇（価格の下落）や為替市場でのユーロの軟調が見られるなど、投資家の懸念の解消には至っていない状況です。そこへ、今回の欧州2カ国に対する格下げが発表されたことを受け、当該国の国債やユーロが売られただけでなく、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に、欧米の株式相場が大きく下落したほか、本日のアジアの株式相場も軟調となっています。

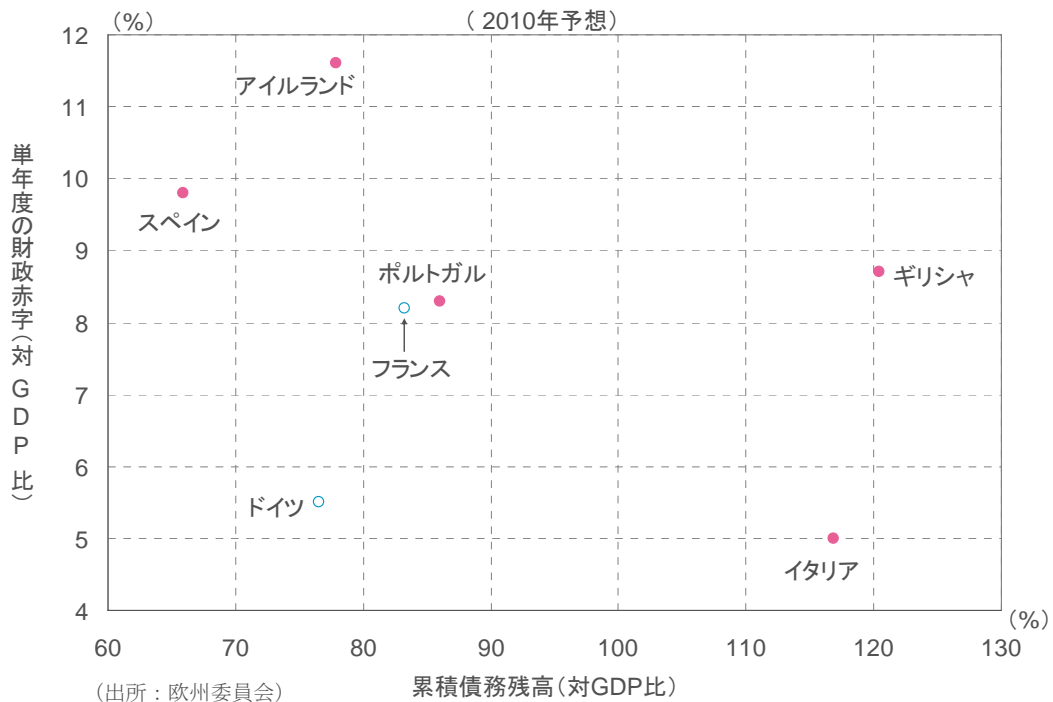
※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ギリシャについて、S&Pは、EUおよびIMFからの融資が近く実施されることにより、当面の流動性が確保されると見込んでいるものの、同国が公的債務負担を継続的に削減させる上で直面するであろう、政治、経済、財政面での困難を踏まえ、今回の格下げに至ったとしています。また、国際的な支援を受けるに当たって、ギリシャの財政再建プログラムがより緊縮的な内容になると予想されることなどから、中期的に景気がかなり厳しくなるとの見方を示しています。

ポルトガルについては、ここ数年の公的分野における改革にもかかわらず、海外資本への依存度が高かったことや競争力不足などを背景に、財政に構造的な脆弱さがあることをS&Pは問題視しています。さらに、財政健全化に向け、政府が既に発表している以上の取り組みが必要と指摘し、少数与党が野党の協力をとりつけることの困難さや、政府の景気見通しが楽観的であるといった問題を挙げています。

ユーロ圏の中心国および周辺国の財政状況



両国とも、財政の健全化に向けて政府が今後、断固たる行動をとる必要があると考えられます。そうした取り組みは、短期的には経済成長の制約要因となる可能性があるものの、市場の懸念の緩和や資金調達時の金利水準の引き下げ、格付けの改善などに欠かせないものであり、その規模や実現に向けての政府の意思の強さがますます重要になっています。

ユーロ圏には、南欧を中心に財政事情が厳しい国が少なくありません。しかし、ユーロ圏は引き続き、ギリシャのように比較的規模の小さい国の経済・財政問題に対処可能であるとみられ、加盟国が債務不履行に陥ったり、ユーロから脱退するような事態に至る可能性は極めて低いと考えられます。ただし、多くの国が2010年から財政再建に向けて取り組む計画となっており、そうした動きが短期的には景気回復・拡大の制約となる可能性があります。

以上

※上記グラフ、データは予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。